

学園だより

太白山

(令和6年度 第3号)

宮城県さわらび学園

〒982-0215

仙台市太白区旗立二丁目4番1号

TEL : 022-245-0333

FAX : 022-245-0515

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sawarabi/>

学園ホームページもご覧ください

「太白山」について

班長 實石 哲夫

「太白山」はさわらび学園の機関紙として、入所児童の皆さんの頑張りや生活の様子を保護者や関係機関に発信するため、年4回発行しています。今年度、「太白山」は読みやすくするため見直しを図り、写真を多く載せる構成に変更しました。「太白山」は、送り手である私たち（児童と職員）の思いを伝えていますが、受け取り読んでいただいた方々に何が届いたのかについては、皆さんから教えていただかない限り知ることはできません。

今夏、数年前に退園した児童から連絡があり、苦しみながらも支援を受け生活している近況を伺うことが出来ました。その連絡のなか、ホームページに載せている「太白山」を読んで、学園生活を思い出し励みにしてくれていたことが分かりました。今回、退園生が支援者と繋がることのできる力があつたこと、「太白山」が退園生の励みになっていたことをうれしく思っています。

この「太白山」を読んでいただいた方々に、今学園で生活する児童の皆さんの様子を伝えることによって、支援者側にとっても何かの励みにもなってもらえればと思います。また、「太白山」を読んでいただいた皆さんに届いたものを、私たちに伝えていただければ幸いです。



学園祭

技師 矢部 聖

各児童が自分の生活や将来の夢について語る意見発表会、分教室主催の和太鼓演奏、子どもたちから自由に作品を募集した作品コンクールを発表させていただきました。小学生もいる中で、自分の意見や演奏を大勢の前で発表する機会は貴重な経験になったと思います。また、話す人への聞く態度、返礼の仕方など細かな所作を何度も練習し、当日は立派な姿をお見せできたと感じます。

今年度から自由形式に変えた作品コンクールでは、それぞれの個性溢れる作品が出揃いました。切り絵、コラージュ、クロスステッチ、折り紙、疑問に思ったことを調べてまとめた研究発表など、子ども達の自由な発想が楽しめる作品コンクールになりました。今後も児童の日頃の取り組みや努力を発表できる場として、創意工夫していきたいと思います。



作文抜粋

昨年よりいいと思いました。理由は、昨年より立派な態度で学園祭にのぞめたことです。中2男児

太鼓の練習を一生懸命行いました。緊張したのは、意見発表や司会の役割を行ったことです。学園祭が成功して良かったです。中2男児

意見発表では、母や祖母のことを感動させることができ良かったです。中3男児

太鼓の和太鼓演奏ではみんなでリズムに合わせて力を強く演奏しました。さらに声も大きく出せました。本当にいい思い出の1ページになりました。自己評価は満点です。中2男児

本番はすごく大成功しました。これまで支えてくれた人々に感謝したいです。中3男児

個別対応職員の観点から

技術主任主査 小野寺 亜希

春から学園に勤務し、冬を迎えました。私は学園の勤務は3回目ですが、前は震災の時、かなり前のことでした。今回は、個別対応という職種で、今までは寮長が兼務していた役割でしたが、今年からは分離して設置しました。役割としては、主に通院同行や年長児（高校生）の対応を行っています。学園の児童は、楽しい時も困った時も担当の先生と話し合いながら生活しています。よって担当との結びつきは強く、既に個別対応ができているようにも見えます。

その中で、個別対応専門の配置となり、どのような対応が望ましいのか悩む日々ですが、ひとつ見えてきたことは、児童が担当との時間を過ごしている間、周囲ではこつこつと日課を頑張っている児童もいるということです。

今年新設された役割ではありますが、寮の個別対応が充実するよう試行錯誤しながら、児童に関わっていきたいと思います。

すみれ寮

技術主幹 菅原 美佐子

2名でスタートした今年度のすみれ寮も今では4人。

小さいけれど大きな存在、ひょうきん者Yちゃん、かわいい顔して毒吐けちゃいます、芸術肌 R1ちゃん、おとなしいけどピアノは情熱的 R2ちゃん、グループワークは任せなさい！まとめ上手 R3ちゃん、と個性あふれる面々が揃っています。すみれ寮も例によって“中学生女子あるある”により、日替わり弁当的に、ツンツンの時もあれば、ワイワイの時もあり、日々刺激的な生活を送っています。そしてみんな、先生たちが大好きです。独占欲が勝ってしまう子もありますが、たくさんの甘えを適切に出しながら、受け止めてもらえる経験を積み、また、失敗から学んでいく…そんな繰り返しの中で少しずつ力をつけているところです。

「こんなところ早く出たい！」「自由になりたい！」…よく聞かれる言葉です。退園後、いつかここでの生活を思い出した時、「嫌な大人ばかりではなかったな。」と少しでも思えるよう、私たち職員も真剣に向き合い、子どもたちの笑いに支えられながら頑張っていこうと思います。



「数年ぶりの学園」

栄養士 布田 雅美

昨年5月に数年ぶりにさわらび学園の栄養士として再び戻ってきました。顔見知りの職員の方もおり安心した一方、学園での食事に関する指導が変わっていることや私の考えた献立を食べる子供たちの反応はどんな感じなのだろう？という不安もありました。数年前にいた時の子供たちと今の子供たちの雰囲気、変わったこともあれば、変わらないこともあるなど感じる日々です。

子供たちにとって食事は日々の楽しみの一つだと思って日々献立作成に取り組んでいますが、初めはなかなか子供たちの好みを把握するのが難しく四苦八苦していました。お誕生日リクエストメニューや行事と一緒に食事をし、コミュニケーションを取ることで少しずつではありますが、子供たちが喜ぶ食事を提供できているのかなと実感してきたところです。

昨年末、子供たちにお餅で作った「チョコ餅」をおやつとして出したことがありました。「美味しかった」という感想を伝えてもらった時は、私もとてもうれしかったです。今回は子供たちから好評をもらった「チョコ餅」の作り方をご紹介します。電子レンジで簡単に作れます。お正月に余った切り餅の消費にもなると思いますのでぜひ、ご家庭でも作ってみて頂ければと思います。

「チョコ餅」

材料：【餅生地】切り餅（100g）2個、水適量、牛乳大さじ1、砂糖大さじ1、ミルクチョコレート30g、片栗粉適量、ココアパウダー大さじ1 1/2

作り方

- ①切り餅を4等分に切り、ボウルに入れて水を加え30分程浸す。
- ②餅生地のミルクチョコレートを細かく刻んでおく。
- ③耐熱ボウルに水気を切った①と②、牛乳、砂糖を入れて混ぜ、ふんわりとラップをして600Wの電子レンジで1分30秒加熱する。
- ④全体をよく混ぜ合わせ、再びラップをして600Wの電子レンジで1分加熱して混ぜ合わせる。
- ⑤片栗粉を入れたバットに6等分にし、丸めてココアパウダーをまぶして出来上がり。

